



自衛官の退職年齢

自衛隊は、精強性を維持するため、自衛官の大半が54～57歳（若年定年制）及び20歳代～30歳代半ば（任期制）で退職します。

退職自衛官は、在職中に培った**実行力、責任感、指導力**の他、職務に応じて身に付けた**知識と技術**などは、再就職先からも高い評価を受けており、各地域の産業界等において十分に貢献できます。⇒**企業のニーズに応える即戦力の人材**です。

○ 定年退職年齢

幹部	1 佐	57（58）歳
	2・3佐	56（57）歳
	1・2・3尉	56歳

准尉	56歳	
曹	曹長・1曹	56歳
	2・3曹	54（55）歳

() 内の数字は、2024年10月から施行される定年年齢です。

退職日は、定年に達した日の翌日（誕生日）とされており、年間を通じて退職者が出ています。

○ 自衛隊新卒（任期制）年齢

自衛隊新卒（任期満了退職者・士）	20歳代～30歳代半ば
------------------	-------------

退職日は任期満了の日とされており、毎年3月に集中して自衛隊新卒者が出ています。1任期の場合は、陸上自衛隊は2年間（特定技術職域の者は志願により3年間）、海上自衛隊と航空自衛隊は3年間で、2任期以降は、陸上・海上・航空の各自衛隊ともに2年間です。